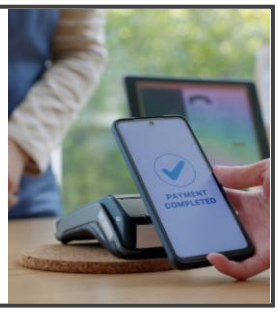
NEWS RELEASE

2024年7月3日
株式会社SVPジャパン

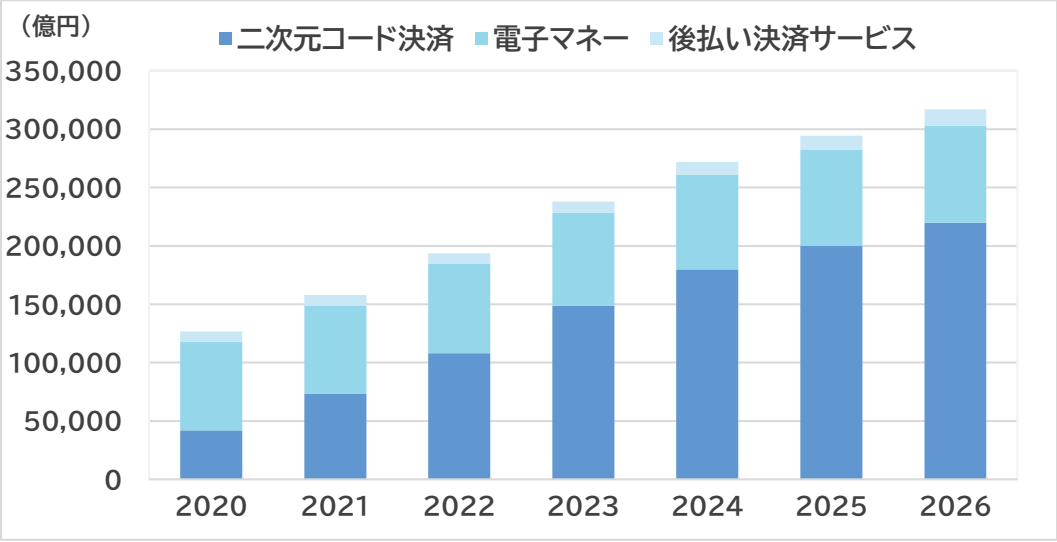
SVP注目市場分析「キャッシュレス決済」を公開

～社会課題や環境問題上のメリットも大きい、新キャッシュレス決済～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「キャッシュレス決済-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■キャッシュレス決済の国内市場



日本は海外の主要各国に比べてキャッシュレス決済の比率が低かったが、近年はその比率が上昇している。キャッシュレス決済は、消費者にとって現金不要の利便性や、小売店にとってレジ業務の効率化やコスト削減のメリットがある。さらに、紙幣や硬貨の交換に伴う感染リスクの減少や訪日外国人の対応、貨幣の製造・流通に関わる環境負荷軽減などの社会的メリットも増加しているため、政府もキャッシュレス化を推進している。

一方、キャッシュレス化が進む中で、従来からあるクレジットカードやデビッドカードに限らず、スマートフォンなどの携帯機器を用いた二次元コード決済や、電子マネー、後払い決済サービスなどの新しい決済手段の利用が増加している。

本レポートでは、これらの新しいキャッシュレス決済として、二次元コード決済、電子マネー、後払い決済サービスの市場動向を概括する。

■キャッシュレス決済の市場概況

二次元コード決済、電子マネー、後払い決済サービスの市場規模は年間20%以上の成長を続け、2023年には約24兆円に達したと推定される。電子マネーは成長が鈍化し、2021年にはマイナス成長となったが、2022年には回復。一方、二次元コード決済は急成長し、2022年に電子マネーを抜いて最も利用されるキャッシュレス決済となった（クレジットカード決済を除く）。後払い決済サービスもネット通販での採用の増加を背景に堅調な拡大が続いている。

二次元コード決済や電子マネーは、ポイント還元プログラムにより金銭的インセンティブが高く、最近の物価上昇も今後のさらなる普及を後押しする要因になると考えられる。また、後払い決済サービスについては、分割払いの対応が進んでいることも、今後の市場規模の拡大につながるとみられる。

■本レポートの構成

Ⅰ．市場の定義
Ⅱ．市場動向
Ⅲ．市場規模・予測
Ⅳ．マーケットシェア
Ⅴ．参入企業の動向
Ⅵ．業界構造

←レポート全編を見る　クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ

■次回のテーマ

8月のテーマは「フードデリバリー」と「グリーンコンクリート」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名	：	株式会社SVPジャパン
代表取締役	：	橋本　雅
所在地	：	東京都中央区日本橋蛎殻町1-38-9　宮前ビル2F
設立年月日	：	1974年7月1日
事業内容	：	会員制のビジネス情報提供サービス
URL	：	https://www.svpjapan.com/

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン　DX推進部　デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com